

ひろの

議会だより

来春には完成予定

農産物加工施設整備事業（9月補正予算）

②

経費削減に一丸となって取り組み(平成21年度決算認定)

④

自然環境保全・健全な財政運営等

5議員が町政を問う(一般質問)

⑬

未来へ残そう“輝く笑顔”と“浅見川”

(鮎つかみ大会 in 浅見川)

No.108

平成22年10月15日発行

福島県広野町議会

E-mail gikai@town.hirono.fukushima.jp

決算議会 9月定例会

平成22年9月定例会を9月13日から16日までの会期で開きました。
 今回は、平成22年度一般会計および特別会計補正予算案など、提出された18議案を慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。
 また、9月定例会は、決算議会でもあり、平成21年度の一般会計および7つの特別会計を認定しましたが、税金等の滞納による収入未済額が依然として増加傾向にあることや、29年ぶりに交付団体となったことにより、今後の財政運営や経費削減に向けた取り組みなどの改善や要望を求める意見が相次ぎました。
 なお、一般質問では、5人の議員が、町の対応や考えを問いただしました。

計画にそった予算編成を 検討会を開催せよ

遠藤智議員 第1回みかんロードレース大会の反省点を踏まえ、今後も職員が一致団結して町民から喜ばれるロードレース大会にしていくためには、将来的なイメージを持ち、計画にそった予算編成をしていくべきではないですか。

省を考慮した予算編成に努めていきます。

渡辺久長議員 予算編成にあたっては、各課より出された資料をもとに優先順位や要望時期などを調整する全庁規模の検討会を開催すべきではないですか。

山田町長 今のところ全庁的な検討会は開催していませんが、予算査定の中で詳細な聞き取りや必要性について協議しています。今後は今まで以上に打ち合わせを密にし、慎重な予算編成に努めていきます。

山田町長 今後この大会を町のPR拡大と地域振興につなげていくという基本理念にもとづきながら、実績や反



▲全国各地からランナーが参加した第1みかんロードレース大会

9月補正予算 2億9,176万円

9月定例会に提案された一般会計補正予算ならびに7つの特別会計補正予算は、一般会計は主に農産物加工施設整備事業にともなう委託費や工事費のほか、道路新設改良費の計上で、特別会計は主に小規模宅地開発事業費ほか、一般会計繰出金などの計上でした。

9月補正の結果

会計名	補正後の予算額	補正額
一般	37億 1,902万円	2億 1,673万円
国民健康保険特別	6億 1,720万円	3,108万円
土地開発事業特別	3,900万円	3,165万円
老人保健特別	43万円	12万円
介護保険事業特別	3億 9,746万円	1,024万円
後期高齢者医療特別	4,281万円	194万円

※金額は、万円未満を切り捨てて表示しています。

特産品の開発に大きな期待 農産物加工施設を整備

(補正予算額9,111万円)



～特産品の開発・販売が可能に～

町の農業は、稲作が中心で特産品の種類が限られているため、特産品開発の拠点施設を整備することにより、加工品の開発研究を共同で進め、特産品の開拓が可能となります。また、大豆、麦、そば等の生産量の拡大に寄与し、地場産業の振興と雇用機会の拡大を促し、地域の活性化がはかられます。

▲「企業組合ひろの」設立総会のような様子



▲親子わくわく教室のような様子

創意工夫をこらした分譲を

塩史子議員 大吹地区の宅地分譲は、町の活性化や人口増を事業目的としているので、子育て世代の若者たちに大きな期待が寄せられます。

ような方策を考え、買いやすい分譲をすべきではないですか。

全国的にも若い世代を対象に割引制度や補助制度など、いろいろな工夫をこらして分譲をしている自治体もあります。子育て世代や若者たちに定住してもらえ

山田町長 宅地の分譲については、事業目的の達成に向け、いろいろな考えを持つて取り組まなければなりません。と認識していますが、これまで町が分譲してきた地区との平等性を考慮しながら慎重に考えていきます。

平成22年広野町後期高齢者医療特別会計補正予算

反対 畑中 大子 議員 **10対1で可決** **賛成** 鈴木 紀昭 議員

後期高齢者医療制度それ自体を認められない。 ← 討論 → 一般会計補正予算との整合性をはかるべき。



▲21年度工事の実施状況を確認する
小貫代表監査委員と黒田監査委員

49億円の成果を認定

—減らない収入 未済額、4年連続で2億円を上回る—
(税金等の滞納など)

審査の結果

平成21年度一般会計および特別会計の歳入歳出決算書については、関係諸帳簿および証拠書類と照合した結果、決算計数は正確であり、執行は適正なものと認められた。

審査のむすび

当町の財政状況は、東京電力(株)広野火力発電所にかかる固定資産税が年々減少し、財政力指数は前年度に比べ、0.158ポイント低下しています。

今後は減少する税収を見すえ、平成21年度の政策や施策の結果を検証するとともに、継続が必要な事業や町民のための優先事業等を見極めて行かなければなりません。

また、年々増加している収入未済額については、その解消に向け、英知を集めて努力されることを望みます。



▲舗装改良された町道苗代替線

平成21年度決算のあらまし

一般会計は、約37億702万円、特別会計は、国民健康保険など7会計合わせて約11億8,548万円となり、合計約48億9,250万円余の歳出決算となりました。

前年度と比べて、約3.7%増加しています。これに対して、歳入決算は約51億9,069万円となりました。

しかしながら、一般会計と7特別会計を合わせた収入未済額(税金等の滞納など)については、前年度とほぼ同額で、4年連続で2億円を上回りました。

町民の負担の公平性を保つためにも、収入未済額の早急な解消が求められます。

討論の末 10対1で認定

平成21年度一般会計決算認定

反対 畑中 大子 議員

特別会計への繰出し金や事業が含まれている

一般会計歳入歳出決算には、後期高齢者医療や老人医療の適正化対策といった特別会計への繰出し金や事業費が含まれています。

私は後期高齢者医療制度の廃止と老人医療費の適正化という言葉が、高齢者に対してどういふことをさすのか意味を認められないため、決算認定に反対します。

賛成 鈴木 紀昭 議員

決算は1年間の集大成

決算認定については、当初予算や補正予算を含めて昨年1年間議会において徹底的に討論し可決されたものであり、その集大成と認識するものです。

それを否決することは昨年度の議員活動を否定するものと考えます。

また、監査委員の報告や意見書にもあるように適正に処理されたとの報告もありますので、決算認定に賛成します。



▲平成21年度一般会計決算認定採決のようす

21年度 決算質疑

経費の削減と長期展望に 立った財政運営を要望

21年度一般会計および7つの特別会計の歳入歳出決算の質疑では、耕作放棄地対策事業に関する周知方法をはじめ、特定検診の受診率などについて、議員から改善を求める厳しい意見や要望が相次ぎました。その中の一部をご紹介します。

LEDで経費削減 と町の活性化を

中津伸一議員 町では経費削減をはかるためにさまざまな取り組みを行っています。経費削減へ大きな効果が期待される※LED化にいち早く取り組むことにより、公共事業も生まれ町の活性化へもつながるのではないですか。

山田町長 庁舎をはじめ町が管理する照明設

備は数多く、LED化による初期費用は巨額なものになると予想されます。

経済効果を含めた検証を行った上で、経費削減の実現に向けて取り組んでいきます。

※LED
電流を流すと光を発する半導体で、長寿命のうえ消費電力が小さいため、省エネ性を重視する家庭照明用としても注目されています。



▲日々の稽古に励む少年剣士たち（剣道スポーツ少年団）

周知徹底に努めよ

門馬巧議員 耕作放棄地対策事業において、農地の貸借などをする上で必要な情報を広く町民に周知すべきではないですか。

渡辺産業グループリーダ 今後も町民にとってわかりやすい指導と、広報活動の徹底に努めていきます。

見やすくわかりやすい書類の作成を

渡辺久長議員 ㈱広野町振興公社決算に関する書類の中で、前年度報告した記載方法と違うところがあります。見やすくわかりやすい書類作成に努め、様式などは統一すべきではないですか。

根本企画グループリーダ 広野町振興公社における決算は税理士に委託をし、取締役会で承認をいただいたものを議会へ報告していますが、今後も書類作成などを含め指導や助言などに努めていきます。

受診率の向上を見すえた予防医療に努めよ

北郷幹夫議員 広野町の平成21年度における特定検診の受診率は44%と半分にも満たない状況から、受診率の向上を見すえた予防医療に力を入れるべきではないですか。

青木町民保健グループリーダ 今後も徹底した予防医療に努め、医療費の減少へつなげていきたいと思えます。



▲総合検診受付の様子

広野町の正確な人口は

北郷幹夫議員 広野町の人口について「広報ひろの」でも毎月紹介されていますが、ほかの資料によつては人口に違いがあります。正確な人口を知る上で、どの情報をもとにすればよいのですか。

鯨岡町民課長 人口については、住基人口や現住人口などでそれぞれ集計方法が異なるため違いはありますが、住民基本台帳に登録されている人口が一般的です。



▲平成22年度広野町敬老会

平成21年度歳入・歳出決算額

<金額は、万円未満を切り捨てて表示しています。>

会計名	決算額		収入未済額 (税金等の滞納)	採決の状況	
	歳入(収入)	歳出(支出)			
一般会計	39億5,443万円	37億702万円	3億3,500万円	賛成10、反対1で認定	
特別会計	国民健康保険	5億8,386万円	5億4,778万円	7,463万円	賛成9、反対1で認定
	土地開発事業	755万円	736万円	0円	全員賛成で認定
	老人保健	298万円	295万円	0円	〃
	公共下水道事業	2億7,027万円	2億6,696万円	475万円	〃
	農業集落排水事業	3,522万円	3,421万円	155万円	〃
	介護保険	2億9,747万円	2億8,882万円	311万円	〃
	後期高齢者医療	3,887万円	3,736万円	48万円	賛成9、反対1で認定
合計	51億9,069万円	48億9,250万円	※4億1,953万円		

※国庫補助事業である翌年度繰越事業に充当する未収入特定財源1億7,729万円が含まれています。

低金利への借り替えに努力せよ

中津伸一議員 公債費（町の借り入れ金）の借り替えについては、課題も多く大変困難であると思いますが、実現へ向けて鋭意努力すべきではないですか。

山田町長 これまでも数回にわたり国や県に要望活動などを行っています。課題は多く難しい面もありますが、今後も国や県との情報交換をしながら一層の努力をしていきます。



▲明るい未来に向かって（秋の交通安全パレード）

心配される将来への負担

前年比で（返済金割合）**増**（債務返還義務）

（歳出全体に占める返済金の割合）
実質公債費比率は **15.2%**



▲子どもたちの笑顔を守るために

実質赤字比率および連結実質赤字比率（国民健康保険事業など全会計を合わせた赤字額の割合）については、一般会計および各特別会計とも実質収支は黒字であり、健全な財政状況であると認めました。

実質公債費比率（返済金の標準財政規模に対する割合）については、早期健全化基準が25%であるのに対し15.2%であり、将来負担比率（自治体が将来負担

すべき債務の大きさ）についても、早期健全化基準が350%であるのに対し84.8%であり、それぞれ早期健全化基準を下回っています。

しかしながら、税収の減少等により財政規模の縮小が見込まれる中、実質公債費比率および将来負担比率ともに悪化していることから、よりいっそう財政健全化に向けた取り組みを強化するよう要望します。

平成21年度財政健全化判断比率等審査監査委員意見

平成21年度国民健康保険特別会計決算認定

反対 畑中 大子 議員

9対1で認定

賛成 中津 伸一 議員

国の医療費削減路線に、ただ従うだけのものではないのか。



国民健康保険加入者にとって、命を守るなにもものでもない制度である。

平成21年度後期高齢者医療特別会計決算認定

反対 畑中 大子 議員

9対1で認定

賛成 鈴木 紀昭 議員

高齢者の命を守る、尊厳を守るという観点から大きく外れたまま。



高齢者の健康を守り、目的は十分に達成している。

広野町の健全化判断比率

（単位：％）

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率 （前年度比）	将来負担比率 （前年度比）
健全化判断比率	-	-	15.2（↑1.3%）	84.8（↑20.8%）
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	40.00	35.0	

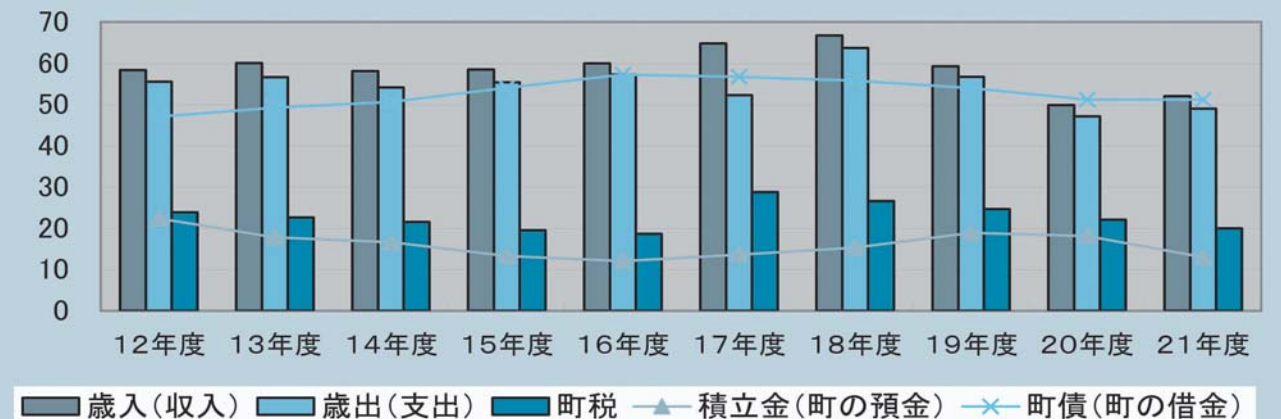
財政健全化判断比率等審査とは

これまで対象としなかった国民健康保険をはじめとする特別会計や第3セクター等の不良債務なども審査対象としたもので、ひとつでも基準を超えれば、財政に問題がある自治体と見なされます。

※実質赤字額および連結実質赤字額がないため、実質赤字比率および連結実質赤字比率は「-」と記載しています。

一般会計・特別会計 歳入歳出決算額、積立金現在高、町債現在高の推移

（単位：億円）



※ 積立金現在高および町債現在高には、特別会計が管理する積立金や町債等は含まれていません。

委員会報告

常任委員会の活動状況を報告します。

総務文教常任委員会 平成22年 8月19日 開催
産業厚生常任委員会 平成22年 8月18日 開催

総務文教 全体計画は了承 大吹地区宅地開発事業

新たな計画の主な内容は、
① 開発面積を都市計画法に關わる開発行為の申請手続きを要しない約2951㎡とすること。
② 計画地内のほぼ中央に幅員6mの道路を整備し、その両側に4区画づつ計8区画の宅地を造成すること。
③ 1区画の平均面積は296㎡(約89坪)

販売単価は1㎡当たり1万9000円弱(1坪当たり6万円)で、販売価格を558万円程度とすること。
この3点に加え、造成工事およびその他の工事を含めた全体計画は了承するものの、道路幅員が適当であるか再度検討するよう求め、隣接土地所有者との緊密な関係を維持するよう提言しました。



▲ゴール目指してがんばれ、がんばれ(保育所運動会)



▲難視聴地域に指定された亀ヶ崎地区

総務文教 町民の不安解消へ 広野町電波遮へい対策 事業費等補助金

来年7月24日までに現在のアナログ放送から地上デジタル放送へと移行されるにあたり、山間部等のデジタル難視聴地域で、地上デジタル放送を受信するための共同受信施設を新設する場合には、国や県、市町村、NHKなど種々助成制度があり、助成金等の交付先は共聴組合であり各世帯への交付ではないこと、また町内の難視聴地域をつぶさに調査しているとのことでした。
テレビ放送が開始されてから初めてのことであり、不安を持って町民も多いため、十分な説明を行い不公平が生じることのない配慮を要望しました。

産業厚生 新しい取り組みを 国民健康保険の現状

本町の国民健康保険加入世帯における医療費の特徴は、主に社会的要因と高額医療費であるとの分析が示され、入院の原因となる疾患は、長期入院患者や入院以外でも長期治療が必要な患者も多く、薬剤費用も高額になる傾向にあることとです。
年々ふくらむ医療費を適正化するため、脳ドック検診や子宮頸がんワクチンの接種、ヒブワクチンの接種に対する助成制度の創設などを実施し、少しでも重症化の解消に努めたいとのことでした。
保健師の人的配置は十分であるか、さらには健康づくりの意識の高揚、特定検診の受診率向上、また国民健康保険税未納者の解消に向けて、町独自の新しい方策を考えるよう提言しました。

産業厚生 徹底した指導を 農産物加工施設整備事業

建設予定地としていた二ツ沼直売所南側の駐車場は、直売所の駐車場として利用されていること、面積的に手狭であるため二ツ沼総合公園南側駐車場の一部に変更し、建設費の財源は電源交付金であり、加工調理器具および事務用品等の購入費については町単独費

で「企業組合ひろの」への補助金としたい旨、さらに年度内工事完了へ向けて取り組んでいるとのことでした。
建設地の変更に苦言を呈しながらも、最良の場所ではないかという意見が出されました。また、加工品によっては夜間や早朝の利用も考えられるので、駐車場の管理、照明器具の設置等を十分に検討するとともに、次年度より町からの補助金は考えていないとのことですので「企業組合ひろの」が独り立ちできるように要望しました。



▲心地よい汗をかきながら健康づくり(ハイキング教室)

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成20年6月定例会● 一般質問

鈴木 正範 議員

未利用町有地を活用せよ

未利用町有地の調査状況と結果および今後の計画などはどうなっていますか。



山田町長／総合的な土地利用を検討する

町有地の有効活用をはかるべく、利用しやすい場所を抽出した結果、約67ヘクタールが活用できる可能性があり、今後の計画については、町有財産としての公益性を重視しながら、総合的な土地利用を検討していきます。



～大吹地区宅地開発事業に着手～

平成23年度に分譲販売予定

定住人口の増加や人口流出の抑制をはかり、活力ある町づくりを推進するとともに、住環境整備を促進することを目的に、未利用町有地を活用して小規模宅地開発を行います。

〈宅地造成計画〉

- ・開発面積 2,950㎡(宅地面積:約2,365㎡/道路面積:約585㎡)
- ・総区画数 8区画 (区画面積:約284㎡～約585㎡)
- ・給排水計画
 - ①給水:上水道へ接続
 - ②生活雑排水:下水道へ接続
 - ③雨水:隣接の町道側溝へ放流

5人の議員が町政を問う 一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席 (広野町議会議場)

箒平地区の今後の展望はいかに

山田町長／課題解決に向け努力する

鈴木 箒平地区の今後について伺います。

①小・中・高校生も含めた幅広い学生を受け入れる「学生村」の建設をどのように進めますか。
②空き家および耕作放棄地を、希望者へ貸付ける二地域居住の促進など、定住人口の増加に取り組むべきではないですか。

③里山の適切な伐採と、これを利用した、きのこや木炭の生産販売により地域住民の生きがいづくりをはかることで、収入増へもつながるのではないですか。

④緊急時の避難や救助を目的として、二本棚から箒平へ通じる箒平林道を整備すべきではないですか。

町長 ①昨年度から箒平地区を対象に

いわき明星大学生の力を活用し、集落活性化調査事業を実施しており、「学生村」の建設については、この事業の推移を見極めながら検討していきます。



鈴木 正範 議員

ふるさとをきれいな川を守れ

山田町長／自然環境の保全に努める

鈴木 浅見川流域一帯の今後について伺います。

①浅見川流域の一つであるいわき市幸之助一帯を、早期に森林復活させるための植林をすべきではないですか。
②通称原石山の管理を見直し、一般開放すべきではないですか。

③町内の自然観光地である大滝に、安全な

④民間主導の町づくりシンクタンク『いきいき広野研究所』が休眠状態にあります。この組織を復活させ、継続して町づくりに参加させるべきではないですか。

町長 ①いわき市幸之助地区一帯は、本町の水道水の水质に重大な影響をもたらす

④「いきいき広野研究所」は、所期の目的を十分に達成されたという点から、廃止したいと考えていますが、今後も「町民の声」を反映した協働の町づくりに努めていきます。



▲岩のかけをさがしてごらん (鮎つかみ大会)

健全な財政運営を

山田町長／収支均衡型の財政運営を目指す



北郷 幹夫 議員

北郷 町は29年ぶりに交付団体となり、ますます厳しい財政状況が続くことから、収支均衡型の財政運営の実現に取り組むと表明されたことについて伺います。

町長 ①現在、行財政改革にむけて問題点の洗い出しを進めており、今後は外部の意見も聞きながら新たな行財政改革指針の策定に取り組んでいきます。

②歳入に見合った歳出規模を定める収支均

衡型の財政運営への転換をはかることが課題であり、事務や事業の見直しを行い、経費削減に努め、長期的な財政計画の策定を進めていきます。

北郷 町の花は「やまゆり」となっていますが、それについて伺います。

町長 ①近年の環境破壊などによる被害で、「やまゆり」が生ずる場所や自生する環境が減少しつつありますが、残された環境を守るべく、小学校の花壇に球根を植栽するなど、保護・育成の啓蒙活動に努めています。

①新たな「行財政改革プラン」を策定すべきではないですか。

②多額の町債を抱えていることから、今後は厳しい事業選択を行い、長期的な財政計画を速やかに樹立すべきではないですか。



▲町の花「やまゆり」を守ろう

②「やまゆり」を生かした地域振興をはかるべきではないですか。

②平成13年に広野町で第9回全国やまゆりサミットが開催され、町民の関心度も高まっていることから、町の花である「やまゆり」を町民の方々と共に将来にわたって残していく地域づくりに努めていきます。

高すぎる国保税の引き下げを

山田町長／財政運営上で必要な税金



畑中 大子 議員

畑中 高すぎる国保税が悪循環を招き、所得の少ない方にとっては大変厳しい現状であることをどう考えますか。

また、国庫負担金の増額や一般会計からの繰入れを増やし、個人負担の軽減をはかるべきではないですか。

町長 所得の少ない方については、実情にあった保険税の軽減などを行っており、国保財政を運営するためには必要となる税金となっています。

また、被保険者間による負担の公平化や財政健全化の観点から、国保税収納率の維持と向上に努めることが重要な課題と考えています。

国庫負担金については、財政基盤強化の要請により、国の助成制度が継続実施されることとなりましたが、法定外の一般会計繰入れを行うことは、国保加入者のみに税金を充当することになるので、国保税の水準に配慮し、慎重に対応していきます。

熱中症対策はいかに

山田町長／注意・呼びかけの徹底をはかる

畑中 町内で熱中症になった方の人数や具体的な対策は立てたのですか。

また、全国的に高齢者の被害が多く、低所得高齢者に対する緊急の対応が必要ではないですか。

町長 7月、8月中に、町内で熱中症により救急搬送された方はいませんが、今年は例年にない厳しい暑さが続いたことから、総合検診をはじめ、防災行政無線などで注意を呼びかけ、保健センターや地域包括支援センターによる家庭訪問の中でも、高齢者の状況把握を行ったところです。

地上デジタル放送への対応は

山田町長／啓発活動を推進する

畑中 地上デジタル放送への移行については、工事業者の不足も懸念されていますが、広野町の現況を町民に知らせるべきではないですか。

また、所得の少ない方の個人負担に対し、町が補助すべきではないですか。

町長 今後も地上デジタル放送への、早めの対応について啓発活動を推進していきます。

また、経済的な理由で地上デジタル放送が受信できない世帯に対しては、国の「地デジチューナー支援」が実施されており、当町でも14世帯からの申込みがありました。

プルサーマル導入に関する見解は

山田町長／安全と安心を最優先にした対応を要請していく

畑中 プルサーマル導入について伺います。

①高レベル放射性廃棄物の処分地が決まっていないことをどう考えますか。

②プルサーマル導入についての町長の見解を伺います。

町長 ①原子力発電を将来にわたり安定的、継続的に利用していく上で避けて通れない課題であり、国と電気事業者等の責任において、安全確保を大前提に、地域社会の理解を得ながら進めることが重要であると考えています。

②原子力発電所の安全管理や監視体制を強化し、県民の安全と安心の確保を最優先に対応していただくよう要請していきたいと考えています。

町の花「やまゆり」の今後の活用方法は

山田町長／育成・保護活動に努める

空き家対策はいかに

山田町長／情報の共有化をはかり
防災、防犯に努める

塩 人口減少時代に
入り、相続人が
全くない、所有者等
が他の地域に居住して
いるため管理ができな
いなどの理由で、空き
家、空き屋敷が増えて
いますが、防災や防犯
面において、町として
何らかの対策をすべき
ではないですか。



▲機械器具点検を行う消防団員

町長 消防署と消防団
の協力を得て、
昨年度実施した空き家
調査では、概ね90軒の
空き家を確認しました。
空き家となってしまう
原因はさまざまな事
情があり、町としても
詳しい情報の把握がで
きない状況です。
今後は町、警察、消
防などが情報の共有化
をはかり、さらには地
区住民の協力による監
視などにより、防災、
防犯に努めていきます。



塩 史子 議員

通学路の照明設備は 十分か

芦川教育長／今後も照明設備の
設置に努める



▲美しい音色を奏でる吹奏楽部の生徒たち

塩 2学期ともなれ
ば日暮れも早
く、中学生の下课時間
にはすでに暗い状況で
す。
通学路における照明
設備が不足していると
考えますが、今後の対
策はどのようなものが
ありますか。

教育長 通学路全体を
見れば、学校
から遠くなるほど、照
明設備が少ないと認識
しており、関係所管と
の連携をはかりなが
ら、危険箇所や照明設
備の少ない場所から防
犯灯などの設置を進め
ており、今後も学校や

保護者等の要望や地域
の方々の意見を踏ま
え、照明設備の設置を
進めていきます。

基金の積み立てを 計画的に

山田町長／長期財政計画に
もとづき努力する

遠藤 本町は今年度よ
り交付団体とな
り、普通交付税を活用
した収支均衡を保った
財政運営が求められま
す。
これまでの債務を解
消しながら、基金の積
み立てを計画的に進め
ることが重要と考えま
すが、10年前から現在
までの基金積み立て額
の推移と長期財政計画
について伺います。

町長 財政調整基金の
これまでの推移
は、平成12年度末は11
億9400万円、17年
度末は7億7300万
円であり、今年度末は
4億9400万円、10
年後の平成32年度末に
は6億1700万円と
見込んでおり、将来に
向けて基金を積み立て
ることは極めて重要で
あると考えています。
今後は、事務や事業
の見直しを行い、歳出
の経費節減に努め、長
期的な財政計画を進め
ていきます。

人事考課制度の導入を

山田町長／慎重に検討していく

遠藤 より良い行政サービスの向上と時代の
変革に対応した人材育成へ向け、勤務
成績に応じた人事評価制度を取り入れるべき
ではないですか。

町長 能力や業績などを適切な基準にもとづ
き評価することは、職員の士気高揚に
資するものと認識しており、より質の高い行
政サービスの実現に重要であると考えます
が、現在、県が試行的に導入している新たな
人事評価制度や他の市町村で取り組んでいる
状況を精査しながら、慎重に検討していき
たいと考えています。

教育長 新しい学習指導要領においても、基礎
学力の向上は重要であると認識してお
り、学校における授業内容などを検証した上で、
学習支援体制についても検討していきます。

また、中高一環プログラム導入後の学力の推
移は、学年や教科により、多少のばらつきはあ
るものの、総体的には少しづつ上昇しており、
今後もしっかりとした指導に努めていきます。



遠藤 智 議員

『うつくしまふくしま町内会』へ参画せよ

山田町長／環境に配慮したやさしい町づくりに励む

遠藤 福島県内では東京電力㈱による環境NPO
オフィス町内会『うつくしまふくしま町内
会』が活動していますが、「火力の町」としてオフィ
ス古紙の共同分別回収や再生紙の使用拡大、白色
度70%再生コピー用紙の啓蒙へ取り組むべきで
はないですか。

町長 庁内では月2回、業者が回収した古紙を再
生紙に活用し、また、保存期限を満了した書
類や個人情報関係書類などは、専門業者に委託し、
製紙工場にて再生紙となっています。

さらに、コピー用紙はすべて白色度70%の再生
紙を使用しており、今後も環境に配慮したやさし
い町づくりに努めていきます。

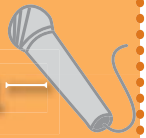
学習支援体制の構築を

芦川教育長／検証した上で検討する

遠藤 国では、必須教科を1割程度増やし、応
用面に力を入れた指導要領へと部分修正
しました。

学習意欲の向上をはかるべく、土曜日や夏休
みなどを利用した、有識者による学習支援体制
への取り組みを検討すべきではないですか。

また、広野中学校ではアカデミー中高一環プ
ログラムが導入され、学力向上の推移はどのよ
うになっていますか。



まちかど インタビュー

活力ある町づくりを目指して 大吹地区宅地開発事業

町では、町有地の有効活用による定住人口の増加や人口流出の抑制をはかるために、下北迫字大吹地区において、今年度末の完成に向けて小規模宅地造成事業を進めており、造成規模は8区画です。

そこで、当事業に対して町民のみなさんが期待していることなど、ご意見・ご感想をお伺いしました。



菅野 定子さん
(下北迫・二ツ沼)

町の人口が年々減少していることを、私はとても心配しています。

少しでも宅地を造成し、人口を増やしていけば、町もにぎやかになるので、とても良いことだと思います。

これからは、1世代限りという考えで家を建てる方も多く、子どもたちに宅地を買ってあげ、広野町に住んでもらいたいと思う親もいますので、求めやすい価格での分譲を望んでいます。



大和田栄造さん
(下北迫・西町)

宅地造成をすることは、町の人口増にもつながるので、大いに結構なことだと思います。

しかし、車社会といわれる現在、造成地への出入り口となる6号交差点は、見通しが悪いうえ狭く、近隣の住民は今でも大変苦労しています。

宅地分譲により、さらに利用者が増えるのであれば、道路改良や6号交差点に信号機を設置するなど、周辺の住環境の整備も併せて進めてほしいと思います。

編集後記

実りの秋を迎え、農家の方々にとって、大変忙しい時期となっている。

秋は、「食欲の秋」「読書の秋」といわれるように、人間生活にとって大事な季節でもある。そして、一番大事な

それを保つために努力する季節でもある。町民それぞれが健康に留意して「町づくり」に参加することで、町の活性化が創り出されるものと思う。

(中津伸一)



▲秋の便りの彼岸花 (折木・館)

発行・編集責任者

議長 坂本 紀一

広報委員会

- 委員長 中津 伸一
- 副委員長 渡邊 正俊
- 委員 鈴木 紀昭
- 委員 塩 史子
- 委員 渡辺 久長
- 委員 鈴木 正範
- 委員 遠藤 智

次の定例会は12月です